

広島市公文書館

紀要

第五号

新藤兼人資料目録

昭和56年2月19日、広島市公文書館は、新藤兼人氏からシナリオ等を寄贈いただいた。この陰には、広島映画センターの田邊昭太郎氏の多大なお骨折りがあったことを記しておきたい。

シナリオは、映像を創造するための設計図である。寄贈いただいたシナリオの中には、疑問や意見などが書き込まれたものもあり、映像化への一端をかいま見せてくれる。映画を知るためには、映像化されたフィルムだけでなく、シナリオをはじめとした映画創造過程の各種資料を一覧することが必要であろうが、シナリオは、映像化への第一歩として特に重要なものである。新藤氏は、広島市に隣接した五日市町の出身であるが、広島との関わりも深い。新藤氏の人と作品については、本号の口絵で有田嘉伸氏が解説されているので参照されたい。

なお、「心の傷は癒えず—映画『原爆の子』に出演して」と題して乙羽信子氏が一文を寄せられた雑誌『改造』が、同様に寄贈いただき本号に収録した「都築資料目録」の456番にあるのは、何かの因縁であろうか。

貴重な資料を寄贈いただいた新藤氏並びに寄贈に当たって御尽力をいただいた近代映画協会の花安靜香氏に末筆ながら記して感謝の意を表する。

(広島市公文書館主任 近藤憲男)

凡 例

- 1 記載順序は、題名・年代・頁数(枚数)・大きさ(タテ×ヨコ)・請求番号とし、年代順に並べた。年代は、公開(刊行)年を基準とした。
- 2 題名は、表題名をそのまま採用した。手書きで題名が修正等されている場合には、修正前の題名を採用し、修正後の題名をその右へ() 書した。なお、旧体字は、新体字に改めた。
- 3 資料のうち、手書き原稿(200字詰め)は(原稿)、手書き謄写印刷は(謄写)とそれぞれ題名の右へ記した。なお、組織のものは、…頁綴と記した。
- 4 刊行物の場合は、題名の右へ著者、発行所等を[] 書し、掲載シナリオを() 書した。
- 5 分類は、映画シナリオ・舞台台本・日記・刊行物の4項目とした。

1 映画シナリオ

お光の縁談	昭和21年	64頁綴	21×15cm	1
安城家の舞踏会	昭和22年	68頁綴	26×18cm	2
誘惑	昭和23年	70頁綴	26×19cm	3
わが生涯のかゞやける日	昭和23年	82頁綴	26×18cm	4
幸福の限界(謄写)	昭和23年	138頁	26×18cm	5
四人目の情婦(四人目の淑女)	昭和23年	68頁綴	26×18cm	6
お嬢さん乾杯	昭和24年	86頁綴	26×18cm	7
真昼の円舞曲(謄写)	昭和24年	123頁	25×17cm	8
戦火の果て(謄写)	昭和25年	121頁綴	26×18cm	9
赤城から来た男(謄写)	昭和25年	100頁	24×17cm	10
肉体の盛装(偽れる盛装)(謄写)	昭和26年	108頁	25×18cm	11
自由学校(謄写)	昭和26年	114頁	24×17cm	12
上州鴉(謄写)	昭和26年	126頁	25×17cm	13
愛妻物語(謄写)	昭和26年	129頁	25×17cm	14
源氏物語(謄写)	昭和26年	132頁	24×18cm	15
村八分(謄写)	昭和28年	164頁	25×17cm	16
縮図(謄写)	昭和28年	98頁	25×17cm	17
欲望(謄写)	昭和28年	102頁	25×17cm	18
夜明け前(謄写)	昭和28年	196頁	25×18cm	19
足摺岬(謄写)	昭和29年	54頁	24×18cm	20
どぶ(共同脚本 棚田吾郎)(謄写)	昭和29年	169頁	24×17cm	21
泥だらけの青春(謄写)	昭和29年	106頁	24×17cm	22
若い人たち(共同脚本 棚田吾郎)(謄写)	昭和29年	147頁	24×17cm	23
愛すればこそ(謄写)	昭和30年	98頁	24×17cm	24
銀座の女(謄写)	昭和30年	63頁	25×18cm	25
鳴神(美女と怪竜)(謄写)	昭和30年	122頁	25×18cm	26
嫁ぐ日(謄写)	昭和31年	112頁	24×18cm	27
流離の岸(謄写)	昭和31年	160頁	24×17cm	28
狙われた男	昭和31年	78頁	25×18cm	29

女 優 (膳写)	昭和31年	80頁	25×18cm	30
殺したのは誰だ	昭和32年	102頁	24×18cm	31
海の野郎ども	昭和32年	147頁	25×17cm	32
第五福竜丸 (共同脚本 八木保太郎)	昭和34年	152頁	26×18cm	33
その壁を砕け (膳写)	昭和34年	164頁	24×18cm	34
花嫁さんは世界一	昭和34年	120頁	24×17cm	35
大いなる旅路 (膳写)	昭和35年	164頁	24×17cm	36
裸の島 (膳写)	昭和35年	91頁	24×17cm	37
ちぎれ雲 (雲がちぎれる時) (膳写)	昭和36年	120頁	24×18cm	38
献身	昭和36年	124頁	24×18cm	39
爛	昭和37年	111頁	24×17cm	40
あの空の果てに星はまたたく (膳写)	昭和37年	162頁	25×18cm	41
青べか物語	昭和37年	107頁	24×17cm	42
斬る	昭和37年	96頁	25×17cm	43
地獄の刺客	昭和37年	119頁	24×17cm	44
獣人 (人間) (原稿)	昭和37年	245枚		45
しとやかな獣	昭和37年	110頁	24×17cm	46
わらし子とおっかあたち (共同脚本 勝目貴久) (膳写)	昭和37年	100頁	24×17cm	47
母	昭和38年	111頁	24×18cm	48
沙羅の門	昭和39年	139頁	24×17cm	49
駿河遊俠伝・賭場荒し	昭和39年	109頁	24×18cm	50
清作の妻	昭和40年	124頁	24×17cm	51
悪党	昭和40年	172頁	25×18cm	52
本能 (膳写)	昭和41年	122頁	24×17cm	53
続・酔いどれ博士	昭和41年	105頁	25×17cm	54
性の起原	昭和42年	132頁	24×18cm	55
愛すればこそ (墮落する女)	昭和42年	128頁	26×17cm	56
墮落する女 (膳写)	昭和42年	102頁	24×17cm	57
眠れる美女	昭和43年	126頁	25×18cm	58
藪の中の黒猫	昭和43年	121頁	25×18cm	59

新藤兼人資料目録

強虫女と弱虫男	昭和43年	168頁	24×17cm	60
かげろう（共同脚本 関 功）	昭和44年	189頁	24×17cm	61
触 角	昭和45年	155頁	24×18cm	62
裸の十九歳（共同脚本 関 功・松田昭三）	昭和45年	275頁	24×18cm	63
熱 い 夜（甘い秘密）	昭和46年	137頁	24×17cm	64
闇の中の魍魎魍魎	昭和46年	161頁	25×18cm	65
讀 歌（原稿）	昭和47年	246枚		66
心 （原稿）	昭和48年	220枚		67
告 発（わが道）（原稿）	昭和49年	357枚		68
わ が 道	昭和49年	157頁	24×18cm	69
竹山ひとり旅（原稿）	昭和52年	287枚		70
ドキュメント8・6	昭和52年	77頁	26×18cm	71
事 件（原稿）	昭和53年	421枚		72
事 件	昭和53年	169頁	25×18cm	73
危険な関係	昭和53年	106頁	25×18cm	74
絞 殺	昭和54年	125頁	25×18cm	75
ELLERY QUEEN'S CALAMITY TOWN（配達されなかった三通の手紙）				
	昭和54年	218頁	25×18cm	76
地 震 列 島	昭和55年	188頁	25×17cm	77

2 舞台台本

女 の 声（謄写）	昭和30年	154頁	24×17cm	78
-----------	-------	------	---------	----

3 日 記

鬼 婆 日 記（原稿）	昭和39年	267枚		79
悪 党 日 記（原稿）	昭和40年	226枚		80
本 能 日 記（原稿）	昭和41年	307枚		81

4 刊 行 物

原 爆 の 子〔近代映画協会・劇団民芸〕	昭和27年	20頁	21×15cm	82
----------------------	-------	-----	---------	----

「原爆の子」完成記念アルバム〔近代映画協会・劇団民芸〕				
	昭和27年	22頁	24×24cm	83
視聴覚教育（抄）〔日本映画教育協会〕（原爆の子）				
	昭和27年 8月号	12頁	26×17cm	84
シナリオの話〔新藤兼人著 現代教養文庫〕	昭和30年	221頁	11×15cm	85
新藤兼人集〔新藤兼人著 日本シナリオ文学全集2 理論社〕				
（待ちぼうけの女・安城家の舞踏会・縮図・どぶ）				
	昭和30年	187頁	19×13cm	86
シナリオ修業〔新藤兼人著 ダヴィッド社〕	昭和37年	256頁	19×13cm	87
鬼 婆〔新藤兼人著 東宝シナリオ選集〕	昭和39年	85頁	17×11cm	88
アートシアター 115号〔日本アート・シアター・ギルド〕				
（ある映画監督の生涯）				
	昭和50年 5月	46頁	23×15cm	89
アートシアター 138号〔日本アート・シアター・ギルド〕（絞殺）				
	昭和54年 6月	46頁	23×15cm	90
私の足跡・独立プロ三〇年の歩み				
〔新藤兼人著 新藤兼人映画論集1 汐文社〕				
	昭和55年	353頁	20×14cm	91
近代映画協会の30年 1950—1980				
〔近代映画協会30年史発行委員会編 近代映画協会〕				
	昭和55年	126頁	30×19cm	92

情 報

広島にゆかりのある映画などを集めた広島市映像文化ライブラリーが昭和57年5月1日に開館する。同ライブラリーでは、映画フィルムなどの収集・保存、映画鑑賞会の開催、16ミリフィルム・8ミリフィルムの貸出しなどを行い、映像文化の普及・振興に取り組むことにしている。

同ライブラリーには、「原爆の子」や「裸の島」をはじめとした新藤兼人作品も収集されている。

名 称 広島市映像文化ライブラリー
所在地 〒730 広島市中区基町3番1号
電 話 (082) 223—3525